

第 13 回（2015 年度）土壌物理学会（論文賞）選考結果

土壌物理学会 学会賞選考委員会
委員長 溝口 勝

学会賞選考委員会として下記の論文を論文賞としてふさわしいと決定しました。

1. 鈴木 克拓 (農研機構 中央農業総合研究センター)
大野 智 (農研機構 中央農業総合研究センター)
谷本 岳 (農研機構 中央農業総合研究センター, 現農研機構 農村工学研究所)

2. 対象論文

多雪重粘土地帯の地下水位制御システム圃場における不耕起 V 溝直播水稻 – 冬作大麦 – 大豆 2 年 3 作体系下での水・窒素・リン・懸濁物質の流出, 土壌の物理性, 第 127 号, p.19–29, 2014.

3. 推薦理由

本研究は、多雪地帯である北陸地方の粘土質土壌の地下水位制御システム (FOEAS) 圃場において、水稻 – 冬作大麦 – 夏作大豆の 2 年 3 作期間の水、窒素、リンおよび懸濁物質の流出実態および地下水位制御が流出に及ぼす影響を実験的に調べたものである。

地下水位制御により、乾燥時には作土下部の体積含率が上昇する一方で、湿潤時には暗渠の排水性が低下することを明らかにした。

FOEAS 圃場において長期にわたるモニタリングをまとめた労作として評価でき、今後複数年度のデータの積み重ねにより世界レベルの研究に発展する可能性がある。

以上の理由により、対象論文は第 13 回土壌物理学会賞（論文賞）に値するものと認め、ここに推薦する次第である。

本結果は 2015 年 10 月 24 日に開催された評議員会ならびに総会にて全会一致で承認され、総会後に授賞式が開催されました。

第 13 回（2015 年度）土壌物理学会（ポスター賞）受賞者

土壌物理学会 学会賞選考委員会
委員長 溝口 勝

開催日：2015 年 10 月 24 日

会 場：2015 年度土壌物理学会大会ポスターセッション会場

（佐賀市：佐賀大学本庄キャンパス 理工学部 6 号館 2 階）

以下の発表が会員および選考委員会による投票によりポスター賞に選ばれました。

- 業 績：COSMOS を利用した粘質土の土壌水分観測
著 者：平嶋 雄太・牧野 弘樹・宮本 英揮

- 業 績：Arduino と XBee を用いた土壌水分センサーネットワークの検討
著 者：國崎 恒成・近藤 一輝・大塩 悠貴・野口 卓朗・中島 正寛・萩島 真澄・
堀田 孝之・徳本 家康・宮本 英揮・石川 洋平

- 業 績：ダイズ栽培圃場における可能蒸発散に対する可能蒸散の割合と草丈の関係
著 者：岡橋 卓朗・坂井 勝・取出 伸夫

- 業 績：地中灌漑における土壌水分分布と消費水量の評価
著 者：濱田 耕佑・弓削 こずえ・阿南 光政・平川 晃・凌 祥之

- 業 績：土中水分変化から推定したダイズ根の吸水速度分布と乾燥ストレス
著 者：成毛 千尋・坂井 勝・取出 伸夫

「土壌の物理性」投稿規定の改正について

土壌物理学会事務局・同編集委員会

2015年10月24日に開催された土壌物理学会総会において、「土壌の物理性」投稿規定の改正が決定されました。

土壌物理学会では、2013年5月に学会ホームページを刷新して以来、会誌「土壌の物理性」掲載記事の公開など、様々な学会サービスの電子化を試行、逐次改善して参りました。今般の改正は、こうしたサービスの正式運用や、公開論文等へのオープンアクセス制度の導入に対応するものです。

本改正は2015年11月20日以降に投稿される原稿に適用いたします。

会員各位におかれましては、ご承知おきいただけますようお願い申し上げます。

「土壌の物理性」投稿規定の改正に伴う新旧対応表

改正部分はアンダーラインで記載（改正日：2015年10月24日）

現 行	改正後*
10. 本誌に掲載された原稿の著作権は土壌物理学会に帰属する。 (2012.12.20 改正)	10. <u>掲載された論文等は土壌物理学会ホームページ上にも掲載する。論文，研究ノート，総説，解説，資料，講座については，掲載誌発行後一年間は土壌物理学会員のみが閲覧できる。ただし，著者はオープンアクセス（50,000円：ページ制限なし）を選択することで，ホームページ掲載直後から誰もが閲覧可能な状態とすることができる。</u> 11. 本誌に掲載された論文等の著作権は土壌物理学会に帰属する。 (<u>2015.10.24</u> 改正)

*1～9については現行通り

電子付録の試行について

土壌物理学会事務局

土壌物理学会では、論文等の電子付録（オンラインでのみ公開する補足資料）の検討を進めています。2015年10月24日に開催された土壌物理学会総会において、その方針について認められました。

電子付録の試行期間（1～2年を予定）に入りますのでお知らせします。どうぞ積極的にご活用ください。

- ・ 閲読は電子付録を“含めない”原稿に対して行われます
- ・ 電子付録掲載希望者は、投稿あるいは閲読期間に編集委員に示してください。
- ・ 試行期間は無料で掲載されます。試行期間中に無料/有料について検討を進めます。

事務局では、電子付録についてのご意見を募集しております。

ご意見・ご要望等 spsyomu@ml.affrc.go.jp にお寄せください。